

辺野古土砂北九州

発行…2024年10月号・No.55



沖縄の西浦昭英さんを迎えて、当会主催の講演会が9月22日開催されました。西浦さんのお話に耳を傾けた参加者のみなさんからは、「沖縄にどれだけの負担がかかっているのか、よくわかった」「非暴力は活動の基本」などの感想が寄せられました。西浦さんはこの後、福岡・佐賀でも講演をされました。

《目次》

- 【北九州空港】北九州空港が日米共同統合演習の対象に(八記久美子)… 2 ページ
- 【土砂全協・奄美訪問】今度は奄美の土砂を狙う沖縄防衛局…………… 4 ページ
(北上田毅さんのブログ「チヨイさんの沖縄日記」より、訪問記を転載)
- 【西浦昭英講演会】231倍もの負担が沖縄に(藤堂均)……………… 8 ページ
- 【西日本交流集会】すでに西日本全体が危ない(宗吉信)……………… 10 ページ
- 【連続エッセイ】80年経ても癒えない戦争の傷跡(浦島悦子)……………… 14 ページ
- 【その他】インフォメーション・日程…………… 15 ページ

写真…北上田毅・藤堂均・宗吉信・ネットより



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

武内市長が、市民・議会に内緒で北九州空港の「特定利用」を承諾

さっそく

北九州空港が実施場所の一つに

「キーン・ソード 25」…10月23日(水)～11月1日(金)

日米共同統合演習

世話人 八記久美子

まず特定利用空港に指定された 「北九州空港」のことを説明しますね

■「特定利用空港・港湾」って何？

国はいま、戦争で自衛隊の基地が攻撃を受けて使えなくなった時の対応として、戦争の時にスムーズに使えるように、日頃から民間の空港や港で訓練をするとし、全国 28 カ所の空港や港湾を、350 億円の税金をつぎ込んで、大掛かりな整備を始めています。北九州空港も今年の 4 月 1 日に「特定利用空港」に指定されました。



■はあ～!?

事の起こりは昨年 12 月 16 日です。岸田政権は「敵基地攻撃能力の保有」・「米軍と自衛隊の統合」・「軍事費 5 年間で 4 3 兆円」などを盛り込んだ「安保 3 文書」を、閣議決定で強行しました。日本は今、「戦争する国」に、まっしぐらに進んでいます。

■「北九州空港」指定の訳は？

防衛省は、①築城基地がそばにある。②北九州市には陸上自衛隊小倉駐屯地(北方の駐屯地)があるからと、答えました。また、オスプレイが飛ぶことも「法律上できる」と言いました。

■武内市長は、国に抗議してくれているんでしょ？

いいえ。昨年 11 月に国が説明に来ましたが、市長は市民にも市議会にも知らせず、これを承諾してしまいました。

武内市長は「北九州空港は国が管理している空港だから、北九州市が何か言う立場にない」と言っています。

■でも、空港は北九州市にあるし…もし戦争にでもなったらどうなるの？

ジュネーブ諸条約で「軍事施設に利用された民間施設は、法的に軍事目標とされる」となっています。もし戦争になったら、北九州空港から自衛隊の戦闘機が飛び立っていくわけですから、当然攻撃されますよね。

■市民の命を守るのが、市長の最大の役割でしょ？

そうですね。だけど市長は、有事等の国防に関することについては、国の専管事項であり、市として、コメントする立場にないと言っています。ひどい話ですよね。詳しくは、同封のチラシ(2 枚)をご覧ください。

10月23日からの日米共同統合演習で、 北九州空港の他、32の民間空港・港湾を使用

■キーン・ソード 25 について

○「キーン・ソード」とは、日米共同統合演習・実動演習のコードネームで、米国側の呼び名。意味は「鋭利な剣」「名刀」など。

1986年から開始され概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今回で17回目にあたります。今年は民間の空港や港が異例の多さで、合同訓練の実施場所になっています。

○日時…2024年10月23日(水)～11月1日(金)

○規模…45,000人(自衛隊：人員約33,000名、米軍：人員約12,000名)

○実施場所…①自衛隊施設、在日米軍施設及び区域

②民間空港・港湾 ※太字は「特定利用空港・港湾」

【空港】名古屋空港・北九州空港・福岡空港・熊本空港・長崎空港・福江空港・宮崎空港・奄美空港・徳之島空港・那覇空港・新石垣空港・与那国空港

【港湾】江刺港・奥尻港・苫小牧港・釧路港・八戸港・名古屋港・鹿児島港・和泊港・名瀬港・前泊漁港・母間新港・面縄港・鹿野浦港・前浜港・山漁港・中城港・平良港・那覇港・石垣港・久部良港。

③奄美大島、徳之島、沖永良部島、日本の国周辺海空域等

「キーン・ソード 25」に抗議する街頭宣伝を行います。詳しくは14ページに

ML(メーリングリスト)でつながり、いろいろな情報交換をしませんか。あなたもぜひご参加ください

ML…「北九州空港」を軍事施設にしない北九州ネットワーク

○申し込み…藤堂 hts@mtc.biglobe.ne.jp (申し込みをお待ちしています)

○10月28日(月)運用開始 ○定期的にニュースを発信する予定です

ML…(仮称)「特定利用空港・港湾」を許さない全国ネット

○申し込み…八記<kanpanerura888k@gmail.com>

○9月15日に開設。特定利用空港・港湾に指定された各地のみなさんと、情報交換などを行っています。



沖縄防衛省、今度は奄美の土砂ねらう

土砂全協が奄美訪問で「現地見学」・「要請、懇談」・「学習会」

合言葉は…どの故郷にも戦争に使う土砂は一粒もない

■2020年…門司は0、鹿児島7.2倍、沖縄6.7倍に

2020年4月21日、沖縄防衛局は大浦湾の軟弱地盤に対応するため、辺野古新基地建設工事の「設計概要変更申請書」を、沖縄県に提出しました。

この時、門司・山口・小豆島は採取場所から消えましたが、鹿児島県は土砂の量が610万 m^3 から4,365万 m^3 に、沖縄県は670万 m^3 から4,476万 m^3 に増えました(数字はストック量や調達可能量で、搬出量ではありません)。

沖縄防衛局は、設計変更申請時点では、沖縄南部地区からの土砂調達を中心に考えていたようですが、戦没者の遺骨が混じっているということで強い反対運動が起き、代わりに奄美大島からの土砂を調達することにしましたようです。

■沖縄防衛局が下調べを始めた

しかし沖縄県では、県外からの土砂調達の際には、特定外来生物の侵入を阻止するための土砂条例が制定されています。

2016年当時、那覇空港滑走路増設埋立事業では、奄美大島からの石材(12.5万 m^3)が搬送され、この土砂条例が初めて適用されました。その際には、申請書では「特定外来生物は確認されていない」とされていましたが、条例に基づき沖縄



奄美の採石場のひとつ

県が立入調査をしたところ、3ヵ所の採石場と3ヵ所の搬出港の全てで、特定外来生物のハイイロゴケグモとオオキンケイギクが確認され、沖縄県は石材の洗浄等の防除対策を指示した経過があります。

奄美からの土砂搬入に先駆け、沖縄防衛局は8月中旬、特定外来生物の調査に入ると鹿児島県と奄美大島に通告しました。しかし、詳しいことは公表されていません。

■土砂全協が緊急行動

奄美からの土砂搬出報道を受け、土砂全協(辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会)では

急遽相談。9月10日～12日、阿部悦子・大谷正穂両共同代表と顧問の北上田毅さんが奄美を訪問することを決めました。

奄美では、6ヶ所の採石場を回り、大和村長、瀬戸内町長、奄美市副市長、龍郷町長らと面談し、「奄美大島からの土砂調達による特定外来生物の移動を許さないための要請書」を手渡しました。

ここからは、
土砂全協顧問・北上田毅さんのブログ
「チョイさんの沖縄日記」から転載させて
いただきました。



■「1日目」 9月10日(火)

大浦湾の埋立土砂が奄美大島から運ばれるということで、土砂全協の阿部・大谷両共同代表と奄美大島に来ました。

今日は、3ヶ所の採石場を見た後、大和村の村長さんに要請書を提出しました。沖縄県民が反対している辺野古埋立に協力しないでほしい、特定外来生物の侵入を阻止するための沖縄県土砂条例に基づく県の立入調査への協力等を要請しました。

村長さんは気さくな方で、「新しい採石場を造る計画があり、周辺住民らも同意していたが、村としては、今以上の採石場拡大は認められないということで反対し、計画は頓挫した」そうです。

しかし、今回の防衛局の動きを受け、新しい採石場の設置計画が再燃するかもしれないとのことでした。

明日は、瀬戸内町長に会った後、3ヶ所の採石場を訪ね、明後日は奄美市副市長、龍郷町長への要請行動です。

また、明日の夜は、奄美市で記者会見の後、講演会。辺野古の工事の現状と、奄美大島からの土砂搬送の問題点について、話しをさせていただきます。

奄美大島から大浦湾に埋立土砂を搬送させないために全力をあげます。



大和村の伊集院幼村長(中央)に要請する、土砂全協のメンバー

■《2日目》 9月11日(水)



左から、阿部悦子共同代表・瀬戸内町鎌田愛人町長・大谷正穂共同代表・北上土砂全協顧問。

今日は奄美大島から辺野古への土砂調達問題に関して、土砂全協の奄美調査の2日目。朝から採石場を視察した後、瀬戸内町長さんへの要請行動。会議室には自衛隊の写真がいっぱい張られており、町長さんも「私は辺野古移設に賛成の立場です」と言われたが、私たちの話しは、マスコミ

公開の場で、丁寧に聞いていただいた。

午後は住用の採石場を視察し、深刻な環境破壊の現状を地元の区長さんから聞く。私たちが来るといので、たくさんの写真や、県との交渉の資料ファイルを準備されていて、次々と説明していただいた。今でもこれだけの深刻な被害が発生しているのに、今後、辺野古への土砂搬出が始まれば、けた違いの被害となるだろう。区長さんの訴えを聞きながら、また奄美を再訪し、土砂問題にかかわり続けなければと思いを新にした。

奄美市に戻り、午後4時から記者会見。テレビを含めて13社ほどが集まってくれた。そして夜は「自然と文化を守る奄美会議」主催で「辺野古の現状と奄美大島からの土砂調達問題」と題した学習会。50人近くの参加者で熱い議論が続いた。

ぎっしりの行程で疲れたが、学ぶことの多い1日だった。

明日は、奄美市副市長、龍郷町長さんらに要請した後、数か所の採石場、土砂搬出港を視察し、鹿児島経由で沖縄に戻る。私は行けないが、土砂全協の共同代表が鹿児島県庁に行き、知事宛の要請書を提出する。



地元の新聞やテレビでも紹介されました。



■「3日目」 9月12日(木)

今日は、奄美大島視察の最終日。昨日の記者会見や夜の学習会のことが、奄美新聞、南海日日新聞、南日本新聞、読売新聞に掲載されていた。

朝一番に奄美市役所を訪問。市長は議会の委員会出席中ということで、諏訪副市長と面談し、要請書を提出した。

辺野古への大量の埋立土砂搬送が始まれば、昨日、訪れた住用地区の採石による粉じん・赤土流出・海の汚濁等の被害は、今よりもはるかに深刻なものとなる。報道では市長は「民間事業者の個々の活動についての言及は差し控えさせていただく」とコメントしたようだが、奄美市の生活・自然環境悪化を防ぐためにも、市として放置できる問題ではないはずだ。

大急ぎで龍郷町役場へ。竹田町長と副町長に会い、要請書を提出した。8月20日、防衛局は、「事業者が土砂を搬送するので、防衛局としては関与しない」と言ったそうだ。あまりに無責任な発言だ。

この3日間で、奄美大島の6ヶ所の採石場を訪ね、大和村の村長さん、瀬戸内町・龍郷町の町長さん、奄美市の副市長さんらと面談した。島内の市民グループの方々や、採石場による被害を被っている多くの方にお会いすることもできた。

沖縄への特定外来生物の侵入を阻止すると同時に、奄美大島の環境破壊を許さないために、今後も連絡をとりながら取り組んでいきたい。



龍郷町の竹田泰典町長(右)と則副町長(右3人目)

奄美市の諏訪哲郎副市長に、要請文を手渡す阿部共同代表



奄美での3日間の行動、お疲れさまでした。



「沖縄の基地問題と非暴力の抵抗運動」…西浦昭英講演会

231 倍もの負担が沖縄に

世話人 藤堂 均

■2、3年と思っていたら

元高校教員の西浦さんは、教員時代に修学旅行先だった沖縄で、バスガイドとは別に、バスに乗って案内してくれる「平和ガイドの会」の方に大変お世話になったという。退職したら、ご自分もボランティアでそういうことをしたいと思い、沖縄に移住したそうだ。

移住した頃に、安和・塩川から土砂の搬出が始まった。いろんな問題があって2、3年で中止になるのではないかと思い、そのくらいならと、安和・塩川・辺野古に通い始めたら、今日まで続いているという。

おだやかな退職後の生活を送ってもよいところ、新基地建設に抵抗する運動を続けることになるという、何とも腹立たしい政治状況である。



資料手にお話する西浦さん

■わかりやすかった差別構造の話

西浦さんが、工事の進捗状況や、活断層・軟弱な地盤など辺野古新基地建設が抱える問題点をわかりやすく話してくださったので、とっ散らかった私の頭の中が、少しは整理できた気がする。だが、それにもまして話を聞いて良かったと思ったのは、差別構造



会員以外の参加者も7人いて、チラシの広がりを感じました

についての話である。

日本の総面積の 0.6%しかない沖縄県に、全国の米軍基地総面積の 70.4%が集中していること。人口比による負担を 100 人の村に例えて、100 キロの荷物があつたとして、70 キロを日本の総人口の 1.2%しかいない沖縄県一人が背負わされ、他の 99 人が 30 キロを分け合って一人当たり 300 グラムしか持っていないことになる。これは沖縄が 231 倍もの負担を強いられていることになる、差別性を具体的な数字に置き換えて説明され、わかりやすかった。

■基地も原発も核廃棄物も

米軍基地は日本全体でも人口の少ない地域、沖縄でも人口の少ない北部、さらに北部でも人口の少ない太平洋側に負担をかける差別構造になっている。これは米軍基地に限らず、「原発や核廃棄物と同じことである」との言葉には、大いに共感した。

私自身が常々「安保条約が役に立つというなら、佐賀空港や北九州空港のような閑散としたところで引き受けるなら原発の立地と同じだ。日本の人口と富が集積し、最も恩恵をうけているであろう東京こそが、受益者負担として米軍基地を引き受けるべき」と考えているからである。

沖縄県道 104 号線越えの実弾射撃は、「本土」へ分散・実施されたが、その行先は、日出生台はじめ人口の少ないところであった。東京の日比谷公園から代々木公園に向かつて実弾射撃をすればいかがだろう（両方とも元は陸軍練兵場である）。安保条約の恩恵を受けている皆様は、きっと心強く思い、そのありがたさに歓喜することだろう。

私のいうことは、無茶苦茶でしょうか？国のやらかす、それ以上の無茶苦茶がまかり通っているのが沖縄なんですけど…。(とうとうひとし)



全員ではありませんが、講演会終了後に記念写真を撮りました。みなさんご参加ありがとうございました

すでに西日本全体が危ない

世話人 宗吉信

■沖縄だけじゃないんだよ

「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」事務局長の新垣邦雄さんは、昨年 11 月に沖縄の那覇市であった 1 万人集会「沖縄を二度と戦場にしない」県民集会の「全国連帯集会」で、全国の登壇者が「沖縄を犠牲にするな」と訴えたことに強い違和感を覚えたそうです。「沖縄だけじゃない。あなたの住む場所が危ない」、戦争準備は「沖縄問題ではなく全国問題だ」と。同じく昨年 11 月に本会が主催した講演会で、三上智恵監督も同様の問題提起をされました。

■広がる危機感がこの集会につながった

9 月 21 日(土)～23 日(月)に広島県の呉市、他で表記の集会がありました。この集会のまとめとして同じ新垣さんは「戦争、戦場となる危機感は軍事化が急激な西日本を中心に、全国で共有されるようになった。それが今回の広島呉集会につながった。」と述べられました。決して喜ぶべきことではありませんが、日本中それぞれの地区で戦争準備を止める取り組みが緊急の課題となっていることを再確認しました。私が参加できた 21 日の報告会と交流会、22 日午前中の呉市フィールドワークまでを、写真とその説明を中心に報告します。



会場参加者は満席の 100 名。zoom 参加は 49 人と報告されました。

■初日(9月21日)の報告会の様子を写真で



主催の「ピースリンク広島・呉・岩国」の西岡由起夫さん(右)は、呉で進む基地強化、特に日鉄呉跡地問題を報告



佐賀空港への自衛隊オスプレイ基地建設阻止闘争の報告をする佐賀の豊島耕一さん。闘争に入る前に県公安委員会に違法な工事(地権者の所有権侵害で裁判中)を取り締まるよう「苦情申し出」をして、県警が実行しないために「私人による法の執行」として阻止行動に入るといった手法が注目を集めた。



沖縄の具志堅隆松さんは、「防衛省は南部からの土砂採取はあきらめたらしいが、『撤回』とは言わない」と報告。



湯布院の鯨津憲司さんは、「おんせんの町ゆらいん」が「ミサイルの町ゆらいん」になってもいいのでしょうか?と訴えた。



大分市の池田年弘さんは、住宅密集地で建設されようとしている敷戸弾薬庫の問題を報告。



交流会の締めは、大分の池田さんの歌で。

■2 日目は、各地の報告とフィールドワーク

22 日午後も「広島軍事基地報告」(ピースリンク広島 新田秀樹さん)、うるま市の陸自訓練場・ミサイル配備反対運動」(ミサイル配備から命を守る うるま市民の会共同代表 照屋寛之さん オンライン参加)、「石垣ですすむ軍事要塞化」(石垣島の平和と自然を守る市民連絡会 藤井幸子さん オンライン参加)、「京都祝園(ほおその)弾薬庫問題」(八木建彦さん)、「特定利用空港・港湾問題」(香川県議 植田真紀さん)、「鹿児島県さつま町自衛隊施設誘致問題」(岩崎わかさん)、「辺野古弾薬庫問題」(山本眞直さん)、と、各地からの報告が予定されていました。

これだけでも戦争準備の問題が、いかに多くの地域の課題となっているかがわかってと思います。23 日午前中は、岩国基地のフィールドワークと、盛りだくさんの集会でした。

■次回はお隣の大分県で

4 月、愛媛に有志が集まって各地の情報交換をする中でたち上がったネットワークが、その後 zoom 会議を重ねて「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク(準備会)」として、今も発展中です。8 月の沖縄、今回の呉、11 月 30 日・12 月 1 日に予定されている大分での集会、その後も鹿児島での集会や東京での中央行動が構想されています。いずれは全国ネットへと広がっていくことと思います。

今集会に参加された方々の熱気に、既に危機感が共有されていることを感じました。でも、地元北九州ではどうなのでしょう？次回の大分は隣の県として、多くの方が参加され、西日本の危機的状況を感じ取っていただけることを願います。(むねよしまこと)



「遺骨の混じった沖縄県南部の土砂を、辺野古の埋め立てに使うな」と頑張っている、沖縄の具志堅隆松さん(右から 3 人目)を囲んで、朝食会場で記念写真を撮る、集会参加者(香川・愛媛・大分)たち。

呉の海上自衛隊は今の 2.5 倍の広さになり、海軍の一大軍事拠点に



ネットの地図から。点線で囲んだところが上の写真の部分の日本製鉄跡地。

防衛省は、日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区跡地を一括購入し「多機能な複合防衛拠点」の整備を急いでいる。また、「安保3文書」に基づく戦争準備の具体化として、護衛艦「かが」の空母化や基地強靱（きょうじん）化なども進めている。



潜水艦棧橋。この日は潜水艦が5隻入っていた。



歴史の見える丘から見える、海上自衛隊のドックの一つ。今入っているのは護衛艦「うみぎり」と思われる。空母化が進む「かが」だと、このドック満杯になるようだ。残念ながら「かが」は現在アメリカに行っていて見られなかった。



ドックは4つ(?)並んでいて、この屋根で覆われているドックで戦艦大和が建造された。左側の鉄骨は大和建造当時の物らしい。

浦島悦子の連続エッセイ 《南の島から》 No.55

80年経ても癒えない戦争の傷跡

ヘリ基地いらぬ二見以北十区の会共同代表／フリーライター



私の住む三原区の創立 100 周年記念誌（字誌）発行（2026 年 3 月予定）に向けて、2020 年 11 月から毎月、『字誌だより』を作成（この 9 月で 46 号）し、区民に配布してもらっている。A4 判 1 枚だけの簡単なものだが、記念誌の進捗状況、聞き取りや情報収集の中でのエピソードなどを載せている。

この連載でも何度か報告した（No.47, 48, 51）が、今年 3 月に亡くなった F 子さんの念願だった「平和の礎」への追加刻銘（＝戦時マラリアにより 1 歳未満で亡くなった甥の名前）を実現できたことを、F 子さんの追悼記事とともに『字誌だより』5 月号で伝えたのだが、それを讀んだ区民の T 子さん（80 代女性）が私と話したがっていると聞いた。

早速、公民館で話を聞いてみると、T 子さん（1938 年生まれ）の弟も、1 歳に満たずマラリアで亡くなったという。F 子さんの甥と同じ頃と思われる。彼女によると、当時、三原でもマラリアが蔓延し、乳幼児をはじめ多くがマラリアで亡くなった。祖父の死因（戸籍簿によると 1946 年 8 月死去）もマラリアだという。彼女の父は召集されて伊江島で戦死。その後、母は再婚したため、T 子さんとすぐ下の弟（亡くなった弟はその下）は祖母に育

てられた。家の手伝いのため、学校にも満足に通えなかった。T 子さんの願いは、亡くなった弟の追加刻銘だ。

まずは、戸籍簿（ないし除籍簿）があるかどうかを調べる必要がある。以前にも報告したように、この地域の戸籍簿は戦火で焼失したため、現在あるのは戦後、生存者の申告により作り直したもの。漏れも少なくない。T 子さんとともに名護市役所久志支所に出かけ、戸籍を調べてもらったが、案の定というか、恐れていた通り、亡くなった弟・定伸（さだのぶ）さんの戸籍はなかった。

書類が出てくるのを待ちながらぼつぼつ話をしていた T 子さんが突然体調不良を訴えた。苦しそうだ。職員が水を持ってきてくれたり、トイレに行ったり、背中をさすったりしているうちにどうにか収まり、無事に自宅に送り届けることはできたが、「戦争のことを話したから…」という彼女の言葉に、80 年経ってもなお生々しい戦争の傷跡を垣間見たようで、胸が詰まった。

F 子さんの甥も戸籍簿はなかったが、位牌が有力な証拠になった。T 子さんは位牌があるかわからないという。彼女の願いをどうしたら実現できるか、思案・模索中だ。（うらしまえつこ）

北九州空港の
「特定利用空港指定」を
白紙に

日米合同訓練反対
《キーン・ソード 25》

市いわく
「有事等の国防に関する
ことについては、国の専管
事項であり、市として、コメ
ントする立場にありませ
ん。」…市長は市民の命を守
るためにいろいろ
発言して!

武内市長が、
市民にも議会にも内
緒で、北九州空港の
「特定利用指定」を
承諾したことに、
抗議

北九州空港を
軍事施設に
しないで

※個人・団体のみなさん、せ
ひご参加ください。
※プラカードや横断幕、大歓
迎です。



《北九州空港の「特定利用空港指定」撤回と 「キーン・ソード 25」に抗議する街頭宣伝》

- 日時…10月22日(火)16:30~17:30
- 場所…小倉駅前ペDESTリアンデッキ

呼びかけ団体/辺野古土砂ストップ北九州
※「呼びかけ団体」を募集しています

《《辺野古土砂北九州・今後の予定》》

- 10月02日(水)…《会報発送》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 10月11日(金)…《北方シネマ・映画「戦雲」上映会》北九州市立大学A101
17時～三上智恵さん・山里節子さんの講演
18時～映画「戦雲」上映
- 10月22日(火)…《北九州空港の「特定利用空港指定」撤回と「キーン・ソード 25」に抗議する街頭宣伝》小倉駅前 16時30分～17時30分
- 11月06日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 11月13日(水)…《会報発送》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 11月22日(金)…《小倉駅前街頭宣伝》16時～
- 11月27日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター(婦人会館)・B会議室

「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。090-4482-0043 大野保徳までお電話いただければ、会報をお送りします。

【辺野古土砂北九州の口座は】ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《《辺野古土砂ストップ北九州》》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2024 年 10 月 2 日発行